



## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月1日

上場会社名 システム・ロケーション株式会社 上場取引所 東  
コード番号 2480 URL <https://www.slc.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 千村 岳彦  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理部門管掌 (氏名) 井坂 俊達 TEL 03-6452-2864  
半期報告書提出予定日 2024年11月8日 配当支払開始予定日 -  
決算補足説明資料作成の有無：無  
決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	844	△1.4	271	△7.6	323	1.0	190	3.4
2024年3月期中間期	856	2.3	293	7.8	320	7.0	183	2.4

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 158百万円 (△39.3%) 2024年3月期中間期 260百万円 (191.3%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	53.89	-
2024年3月期中間期	52.10	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期中間期	4,270	3,580	83.8	1,014.00
2024年3月期	4,377	3,554	81.1	1,006.53

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 3,577百万円 2024年3月期 3,551百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	-	0.00	-	38.00	38.00
2025年3月期	-	0.00	-	-	-
2025年3月期（予想）	-	-	-	38.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,742	0.0	580	0.0	620	0.0	392	4.8	111.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無  
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期中間期	3,570,000株	2024年3月期	3,570,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	41,783株	2024年3月期	41,783株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2025年3月期中間期	3,528,217株	2024年3月期中間期	3,528,217株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。予想に内在する様々な不確定要因や、今後の事業運営における内外の状況の変化により、実績はこれらの業績予想と大きく異なる可能性がありますので、ご承知おき下さい。上記業績予想に関する事項は、3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
中間連結損益計算書 .....	6
中間連結包括利益計算書 .....	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間（2024年4月1日～9月30日、以下「当期」）における当社関連市場である自動車産業は、一部のメーカーの台風による工場稼働一時停止による影響などで国内生産が減少しましたが、前年に比べて新車の供給状況の改善がさらに進み、落ち着いた市場動向でした。一部のブランドを除けば、販売主軸車種においても、納期が正常化してきています。国内における新車販売台数（乗用車）は前年同期比1.8%減となり、第1四半期と同様に前年同期の供給急拡大が一服し、所謂“コロナ禍”前の2019年の同期間販売台数と比較した場合、14.1%減の水準となりました。中古車登録台数（乗用車）は同2.3%増となり、新車の国内生産減少の影響もあって堅調でありながらも、第1四半期と同様に落ち着いた市場となりました。

このような社会環境の中、前期に引き続き自動車販売事業者、自動車関連金融事業者など、お客様における業務のDX化の一助となるべく、新機能追加や新商品開発の推進に取り組みましたが、特に主力商品であるCA Doctorにつき前年同期の水準を達成できませんでした。ようやく自動車販売事業者との前向きな商談も増え、新規受注分も数字となってきましたが、コロナ禍において蓄積した減少分がストック型であるがゆえに影響し、引き続き減収となりました。

売上原価においては、第1四半期において発生した一部製品の償却期間短縮による一時的な償却負担増加が7月まで続き、また第1四半期の販売管理費における一時的費用などがあり、グループ利益を圧迫する原因となりました。

この結果、当中間連結会計期間における当社グループの売上高は、844,743千円（前年同期比1.4%減）となりました。引き続きリカーリングの性質による売上が大半であり、ストック型売上として、フロー型ビジネスと比較し安定的に推移するものです。営業利益は、売上減及び一時的な費用負担の影響もあり、271,191千円（前年同期比7.6%減）となりました。経常利益は一時的な保険金収入があり323,401千円（前年同期比1.0%増）となり、親会社株主に帰属する中間純利益は、第1四半期に出資したAIドライブアシスタント開発スタートアップ企業

（Pyrenee Inc.）の株式評価減及び税効果会計の影響により、190,120千円（前年同期比3.4%増）となりました。

なお、Pyrenee Inc.の株式について会計基準に基づき評価減を計上しておりますが、同社は当社出資以降現時点に至るまで、資金調達においてダウンラウンドも行っておらず、その経営は順調に推移しているものと認識しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は2,235,651千円となり、前連結会計年度末に比べ31,214千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が37,173千円増加したことによるものであります。固定資産は2,035,291千円となり、前連結会計年度末に比べ137,783千円減少いたしました。これは主にソフトウェアが41,592千円減少、保険積立金が39,110千円減少及び投資有価証券が32,073千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、4,270,942千円となり、前連結会計年度末に比べ106,568千円減少いたしました。

#### (負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は214,549千円となり、前連結会計年度末に比べ7,909千円減少いたしました。これは主に賞与引当金が13,888千円増加した一方、未払法人税等が7,509千円減少したことによるものであります。固定負債は476,291千円となり、前連結会計年度末に比べ123,938千円減少いたしました。これは主に役員退職慰労引当金が75,055千円減少及び繰延税金負債が51,739千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、690,841千円となり、前連結会計年度末に比べ131,847千円減少いたしました。

#### (純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は3,580,101千円となり、前連結会計年度末に比べ25,279千円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する中間純利益190,120千円を計上したものの、剰余金の配当が134,072千円発生したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は83.8%（前連結会計年度末は81.1%）となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、税金等調整前中間純利益の計上、減価償却費の計上及び、投資有価証券の取得による支出等により、当中間連結会計期間末には、2,013,579千円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は241,725千円の収入(前年同期比12.0%減)となりました。

主なプラス要因は、税金等調整前中間純利益の計上253,013千円、顧客関連資産償却額の計上25,000千円、のれん償却額の計上10,551千円及び減価償却費の計上66,198千円であります。主なマイナス要因は、法人税等の支払106,483千円であります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は71,478千円の支出(前年同期比0.6%増)となりました。

主なマイナス要因は、投資有価証券の取得による支出85,000千円であります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は133,984千円の支出(前年同期比0.7%増)となりました。

これは、配当金の支払によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期におきましては、2024年5月2日付「2024年3月期決算短信」に記載いたしました当期(2024年4月1日～2025年3月31日)の業績予想は変更しておりません。今後、業績予想数値に修正が生じる場合は速やかに公表致します。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,937,290	1,974,464
売掛金	201,856	193,905
棚卸資産	4	22
その他	65,285	67,258
流動資産合計	2,204,436	2,235,651
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	207,676	207,699
減価償却累計額	△81,814	△85,619
建物及び構築物(純額)	125,862	122,079
船舶	60,545	—
減価償却累計額	△60,545	—
船舶(純額)	0	—
車両運搬具	9,849	9,849
減価償却累計額	△7,743	△8,093
車両運搬具(純額)	2,106	1,755
工具、器具及び備品	194,706	207,423
減価償却累計額	△125,345	△135,353
工具、器具及び備品(純額)	69,361	72,069
土地	167,756	167,756
有形固定資産合計	365,086	363,661
無形固定資産		
のれん	105,515	94,964
顧客関連資産	450,000	425,000
その他	201,143	172,707
無形固定資産合計	756,659	692,671
投資その他の資産		
投資有価証券	831,636	799,563
保険積立金	195,640	156,529
その他	33,360	32,173
貸倒引当金	△9,307	△9,307
投資その他の資産合計	1,051,329	978,958
固定資産合計	2,173,075	2,035,291
資産合計	4,377,511	4,270,942

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	19,309	15,602
未払法人税等	104,033	96,524
賞与引当金	26,308	40,197
その他	72,808	62,226
流動負債合計	222,459	214,549
固定負債		
役員退職慰労引当金	296,315	221,260
退職給付に係る負債	51,620	54,476
繰延税金負債	252,293	200,553
固定負債合計	600,229	476,291
負債合計	822,689	690,841
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	282,675	282,675
利益剰余金	2,900,393	2,956,441
自己株式	△18,659	△18,659
株主資本合計	3,264,409	3,320,457
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	282,055	251,319
為替換算調整勘定	4,778	5,818
その他の包括利益累計額合計	286,833	257,138
非支配株主持分	3,579	2,505
純資産合計	3,554,822	3,580,101
負債純資産合計	4,377,511	4,270,942

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	856,782	844,743
売上原価	173,440	194,143
売上総利益	683,342	650,599
販売費及び一般管理費	389,796	379,407
営業利益	293,545	271,191
営業外収益		
受取利息	518	1,128
受取配当金	23,724	24,058
為替差益	6,250	905
持分法による投資利益	—	526
受取保険金	—	24,822
その他	3,258	2,866
営業外収益合計	33,752	54,307
営業外費用		
保険解約損	—	2,097
持分法による投資損失	7,102	—
営業外費用合計	7,102	2,097
経常利益	320,195	323,401
特別損失		
固定資産除却損	—	0
投資有価証券評価損	—	70,388
関係会社株式評価損	122	—
減損損失	21,347	—
特別損失合計	21,470	70,388
税金等調整前中間純利益	298,725	253,013
法人税、住民税及び事業税	137,928	100,282
法人税等調整額	△22,142	△36,126
法人税等合計	115,785	64,155
中間純利益	182,939	188,857
非支配株主に帰属する中間純損失 (△)	△879	△1,262
親会社株主に帰属する中間純利益	183,819	190,120



(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	182,939	188,857
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	76,960	△30,736
為替換算調整勘定	567	82
その他の包括利益合計	77,527	△30,653
中間包括利益	260,466	158,203
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	261,140	159,277
非支配株主に係る中間包括利益	△673	△1,073

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	298,725	253,013
減価償却費	46,652	66,198
減損損失	21,347	—
のれん償却額	10,551	10,551
顧客関連資産償却額	25,000	25,000
引当金の増減額 (△は減少)	32,334	△61,166
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△13,714	2,856
受取利息及び受取配当金	△24,242	△25,186
持分法による投資損益 (△は益)	7,102	△526
売上債権の増減額 (△は増加)	6,684	7,950
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,598	△3,706
投資有価証券評価損	—	70,388
関係会社株式評価損	122	—
受取保険金	—	△24,822
その他	△2,842	△22,349
小計	406,122	298,200
利息及び配当金の受取額	24,242	25,186
保険金の受取額	—	24,822
法人税等の支払額	△155,682	△106,483
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>274,682</b>	<b>241,725</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△69,376	△5,855
無形固定資産の取得による支出	△32,717	△19,522
投資有価証券の取得による支出	—	△85,000
保険積立金の積立による支出	△3,624	△2,611
保険積立金の解約による収入	39,888	41,511
その他	△5,200	—
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△71,029</b>	<b>△71,478</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△133,077	△133,984
財務活動によるキャッシュ・フロー	△133,077	△133,984
現金及び現金同等物に係る換算差額	△186	355
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	70,388	36,618
現金及び現金同等物の期首残高	1,659,832	1,976,961
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,730,221	2,013,579

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。